

第1号議案

【福知山市企業人権教育推進協議会】

人権の視点から企業の社会的責任を明らかにし、企業における人権教育を推進するため、1976年(昭和51年)10月に組織された。

- ・加盟企業 93社(2023.4.1現在)
- ・活動内容 新入社員、トップ・人権担当者を対象とした研修会や女性問題をテーマとした研修会の実施。人権DVD巡回研修の実施。情報誌「企教推だより」の発行や身元調査お断り新聞広告の掲載。新規会員募集の呼びかけ。

2022年度事業報告

1. 主催事業

①全体

年 月 日	事 業 名	会 場 等
2022. 4. 21	2021年度会計監査	ハピネスふくちやま
5. 10	第1回理事会	ハピネスふくちやま
6. 6	第46回総会及び記念講演会	ル・クレア
7. 12	第2回理事会	ハピネスふくちやま
7. 19	巡回DVD研修開始(第1・3・4ブロック)	各企業・事業所
7. 20	巡回DVD研修開始(第2ブロック)	各企業・事業所
8. 6	身元調査お断り運動推進・企教推PR新聞広告	両丹日日新聞掲載
9. 16	女性問題研修会	ハピネスふくちやま
10. 13	新入社員人権教育研修会	福知山市企業交流プラザ
10. 14	「企教推だより」第1号 発行	
12. 5	啓発作品の紹介・企教推PR新聞広告	両丹日日新聞掲載
12. 7	トップ・担当者合同研修会	福知山市企業交流プラザ
12. 26	「企教推だより」第2号 発行	
2023. 2. 9	企業内人権担当者研修会	市民交流プラザ
3. 24	「企教推だより」第3号 発行	

②第2ブロック

年 月 日	事 業 名	会 場 等
2022. 6. 7	第2ブロック理事会	企業交流プラザ
7. 19	第2ブロック懇談会	企業交流プラザ
7. 20	巡回DVD視聴覚研修会開始	全企業
10 月	2022年度 人権作品・標語募集	全企業
11. 14	第2ブロック視察研修会	ウトロ平和祈念館
11. 18	理事会	企業交流プラザ
12. 7	長田野工業センター人権啓発研修会 (トップ・担当者合同研修会との合同開催)	企業交流プラザ

2. 参画団体事業及び参加事業

年 月 日	事 業 名	会 場 等
2022. 5. 16	福知山市市民憲章推進協議会定期総会	ホテルロイヤルヒル 福知山
5. 31	福知山雇用連絡会議役員会	福知山市役所
7. 6	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 第38回総会	市民交流プラザ
7. 15	福知山雇用連絡会議公正採用啓発部会	福知山市役所
8. 29	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 第52回 人権を考える市民のつどい	ハピネスふくちやま
11. 18 ~20	市民憲章運動推進第56回全国大会福知山大会	厚生会館 他
12. 5	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 人権週間 街頭啓発	バザールタウン、 イオン福知山店
12. 6	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 第53回 人権を考える市民のつどい	ハピネスふくちやま
12. 15	福知山雇用連絡会議公正採用啓発部会 公正採用に係る懇談会	市民交流プラザ

※その他、年間を通し、参画団体である「人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会」「福知山市市民憲章推進協議会」「福知山雇用連絡会議」主催の会議等に出席しました。

1. 「基本方針」

- (1) 人と人との関わりの基本に思いやりや人格の尊敬がおかれ、「人権文化」が息づく職場づくりに効果のある研修・啓発を進める。
- (2) 企業活動に、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）、法令遵守（コンプライアンス：Compliance）の考え方が根付くための研修・啓発に取り組む。
- (3) 「良き企業人は良き社会人」として、地域社会の活動に積極的に参加する。
- (4) 企業内研修・啓発の充実のために、具体的な内容や手法の交流を積極的に進める。

2. 「運営方針」にかかる成果と課題

- (1) より多くの会員企業が参加でき、効果的な研修・事業を行うために、理事会の機能を活用する。具体的には、事業ごとに担当理事を配置し、事務局と連携しながら主体的に運営する。

【成果と課題】

- ・各事業ごとに担当理事を設定したところ、多くの担当理事の積極的参加により、新型コロナウイルス感染症拡大予防を含め、円滑な事業運営を行うことができた。
- ・研修内容については、外部講師による専門的・具体的な講義によるものとともに、一部ワークショップ形式を取り入れ、参加者の理解と交流を深める工夫を行った。より効果的な研修が実施できるよう様々な研修会や資料などから講師に関する情報収集に努めた。
- ・今後においても、新たな講師情報の収集に努めるとともに、今日的なテーマ設定による研修会を企画検討していきたい。

- (2) 協議会全体の結束力を高めるために、協議会事業や企業内の研修や啓発資料等について意見交流し、事業運営に活かす。

【成果と課題】

- ・2022年度は理事会を通常2回開催することができ、その中で事業や研修会等に関わる意見交流を進めた。また、各研修会やDVD巡回研修でのアンケート結果を基に、今後の研修会の運営に反映させることとした。
- ・今後においても、各研修会のアンケートにより効果測定を図るとともに、協議会会員企業のつながりを深めるための交流事業や機関紙の充実に向けていきたい。

- (3) 企業内研修等を計画的に実施する体制を整える。具体的には、各企業は、総会終了後速やかに今年度目標・方針・研修計画の作成をし、事業運営する。

【成果と課題】

- ・2022年度においては、ほぼ当初計画どおりの事業を実施することができた。また、各研修会においてはアンケートを実施したが、その結果を踏まえて次の研修計画に反映させるようさらに徹底することが必要である。
- ・今後においては、今日的な人権情勢を踏まえながら、重点的に研修すべきテーマを複数年にわたって計画的に設定できるよう検討していく。
- ・人権に関わる法令や計画、様々なトピックスなどを会員企業に随時情報提供することで、各社における研修活動の一助とする。

3. 「重点実施項目」にかかる成果と課題

(1) ブロックごとに啓発DVDの巡回視聴覚研修に取り組む。

昨年度に引き続き、人権啓発DVDを巡回し研修を行った。

第1、3、4ブロック（7月19日～2月18日）

- 1班（6社） 『わからないから確かめあう』
- 2班（4社） 『コール&レスポンス』
- 3班（10社） 『お互いの本当が伝わる時』
- 4班（8社） 『ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション』
- 5班（9社） 『フェアな会社で働きたい』
- 6班（8社） 『なぜ企業に人権啓発が必要なのか』
- 7班（8社） 『出会いを豊かなものに』

第2ブロック（7月20日～1月12日）

『小さな歩みを見つけよう』 41社

【成果と課題】

- ・各企業が余裕を持って、視聴覚研修に取り組めるよう、班分けや巡回期間の設定、実施計画の早期周知に努め、どの企業も計画的に研修を実施できた。研修後アンケートでも視聴覚研修が定着してきたことがうかがえる。
- ・主に企業活動に関連する内容のDVDを選定して巡回を実施したが、分野別の人権問題に関わるDVDも選定するなど、幅広いDVDの選定についても検討していきたい。

(2) 分野別の各研修会を実施する。

■総会・記念講演会

日時：2022年6月6日（月） 14:00～16:00

場所：ル・クレア

参加者数：47人

内容：講師 古野哲司(ふるの てつじ)さん（大阪企業人権協議会）

テーマ 「企業の社会的責任と人権」

【成果と課題】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年続けて中止した総会及び記念講演会を計画どおり実施することができた。総会では、コロナ以前の活動に復帰するための事業計画・予算案、役員改選の承認を受けた。また、記念講演会では、昨年度の会員企業内での事象を踏まえて、改めて人権問題解決に向けて企業が果たす役割と今日的な人権課題について学習を深めることができた。

■女性問題研修会

日時：2022年9月16日（金） 14:00～15:00

場所：ハピネスふくちやま 市民ホール

参加者数：55人

内容：講師 かずえちゃん（ユーチューバー）

牧由香里(まき ゆかり)さん（三洋化成工業株式会社ダイバーシティ推進部）

テーマ 「企業の事例から学ぶ～LGBTQ等の性的少数者が働きやすい職場づくり」

【成果と課題】

- ・かずえちゃんの生い立ちからカミングアウト、また、三洋化成工業の先進的で具体的な企業の取組を分かりやすく課題点も交えながら説明を受けることができた。
- ・LGBTQについて理解を深めるとともに、普段の生活の中で性的少数者の存在に無自覚であり、知らないうちに性的マイノリティを傷つけていることがあると気づいたという参加者の声があり、あらためて自身の言動や態度を見直す機会となった。

■新入社員人権教育研修会

日時：2022年10月13日（木）14:00～15:00

場所：企業交流プラザ 会議室

参加者数：18人

内容：講師 松尾弥生(まつお やよい)さん（夢こらぼ主宰）

テーマ 「人権を大切にしたコミュニケーション」

【成果と課題】

- ・今年度は従来の講師から変更して新たな講師に依頼し、とくに新社会人として必要な人権をベースにしたコミュニケーションのあり方を理解し、体験する研修を実施することができた。ワークショップも取り入れ、他社の社員との話し合い交流を深めることができた。
- ・今後においても、人権の基礎的な感性や理解を深めるプログラムにより、企業間の交流も含め体験型学習の取組を進めていく。

■トップ・担当者合同研修会

日時：2022年12月7日（水）14:30～15:45

場所：企業交流プラザ 会議室

参加者数：72人

内容：講師 柴原浩嗣(しばはら こうじ)さん（一般財団法人大阪府人権協会）

テーマ 「わたしからはじまる部落問題」

【成果と課題】

- ・長田野工業団地の工場長会及び人権啓発研修会と合同で開催し、多くの企業の参加が得られた。
- ・研修スタイルは一方向的な講義・教育方式ではなく、自分で考え、他の人の意見も聴くというワークショップ形式を取り入れ、自分ごととして人権問題・部落問題を捉えることができた。
- ・今後においても、多様な人権問題をテーマ設定し、自己の問題として捉える学習を通して、企業としての役割や責務をも考えていくことが必要である。

■企業内人権担当者研修会

日時：2023年2月9日（木）13:30～14:30

場所：市民交流プラザ 市民交流スペース

参加者数：46人

内容：講師 里内友貴子(さとうち ゆきこ)さん（合同会社 WLBC、里内法律事務所弁護士）

テーマ 『弁護士が教える！最新ハラスメント対応』

【成果と課題】

- ・労働施策総合推進法の改正など、ハラスメントに関する最新情報について理解を深め、適切なハラスメント対応のあり方について学習することができた。
- ・企業としてハラスメントをなくす取組が企業価値を高める取組につながることを認識することができた。
- ・今後においても、差別のない安心して働くことのできる職場環境の実現に努めることが重要であり、継続して学習の場を設ける必要がある。

(3)「企教推だより」を年3回発行する。

【成果と課題】

- ・10月、12月、3月の3回発行した。
- ・様々な方法で活用していただけるよう回覧用のA4カラー版と掲示用のA2版との2種類の作成を行った。
- ・協議会主催の各研修会の内容報告や人権に関する市民意識調査結果の説明、会員企業の人権

教育等の紹介をし、会員相互の連携と人権意識の向上に努めた。

- ・ 今後は、いかに事業効果につなげられる内容にしていくか、啓発を含めた内容に工夫することが課題である。

(4) 本協議会への参加・加盟を広く呼びかける。

【成果と課題】

- ・ 8月の人権強調月間、12月の人権週間に合わせ、人権啓発広告を新聞掲載した。
- ・ 啓発活動等を通じて協議会の活動を広く社会に周知していく必要がある。また、加入案内の送付や企業訪問により協議会への加入を呼びかけていく必要がある。

(5) 「身元調査お断り運動」等の啓発活動を推進する。

【成果と課題】

- ・ 啓発活動として、8月の人権強調月間に、「身元調査お断り」広告を新聞掲載した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、街頭啓発は事務局のみの対応としたが、今後においても引き続き身元調査は許さないという人権啓発を進めていく。
- ・ 今後、身元調査お断り推進運動に加え、その他の人権問題に関しても、協議会として啓発活動を効果的に継続的に進めていくよう検討することが必要である。

(6) 関係機関・団体との協働・交流を進める。

【成果と課題】

- ・ 「人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会」「福知山市市民憲章推進協議会」等主催の事業や会議に出席し、連携を深めてきた。
- ・ 今後も引き続き、連携をとりながら、実施事業等へ積極的に参加する。

※参画団体

- ① 人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会
- ② 福知山市市民憲章推進協議会
- ③ 福知山雇用連絡会議

※従来参画していた「福知山市人権問題協議会」については、協議会委員の大幅な再編があったため未加入となった。